



とびら

第46号
2026.5



あおば保育園 めろん組 『お花見遠足』
鹿西小学校 『入学式』

議会トピックス

防災・減災強化 令和8年度当初予算	2-6
町政を問う 3月定例会議	
まちづくり予算を示せ など8名登壇	9-12
議会報告会「議員と語ろう懇談会」	13
新中学一年生に突撃インタビュー	16

過去の
議会だより



二次元コードを読み
取ってご利用下さい。

①復旧・復興
②防災対策
が、当初予算の23%を占める

旧鹿島庁舎

3億5,841万円

車庫を残して解体工事を行います。

ひきこもり 支援施設

5,339万円

旧デイサービスセンターいこいを改修して支援施設にします。

高齢者世帯 エアコン購入補助

50万円

65歳以上の住民税非課税高齢者のみ世帯の購入を補助します。

復興公営住宅

7億7,610万円

夏までに20戸を建設予定です。

中能登消防署 改修工事

6,505万円

仮眠室の個室化や女性部屋を整備します。

防災備蓄倉庫 ・資機材倉庫

5,510万円

復興計画リーディングプロジェクトとして建設予定です。

鹿西分団 車庫詰所建設

4,213万円

旧鹿西中学校グラウンド内に建設します。

令和8年度・今年はこれだ!! 『災害に強いまちづくり』

中学校 アリーナ棟空調

2億円

避難所でもある体育館に
空調を設置します。

鹿西高校 魅力向上

130万円

新入生教科書代を補助します。

5歳児健診

51万円

就学までの支援体制構築の
ため新規に実施します。

GIGAスクール

1億2,877万円

児童・生徒用タブレット
端末1,224台を更新予定
です。

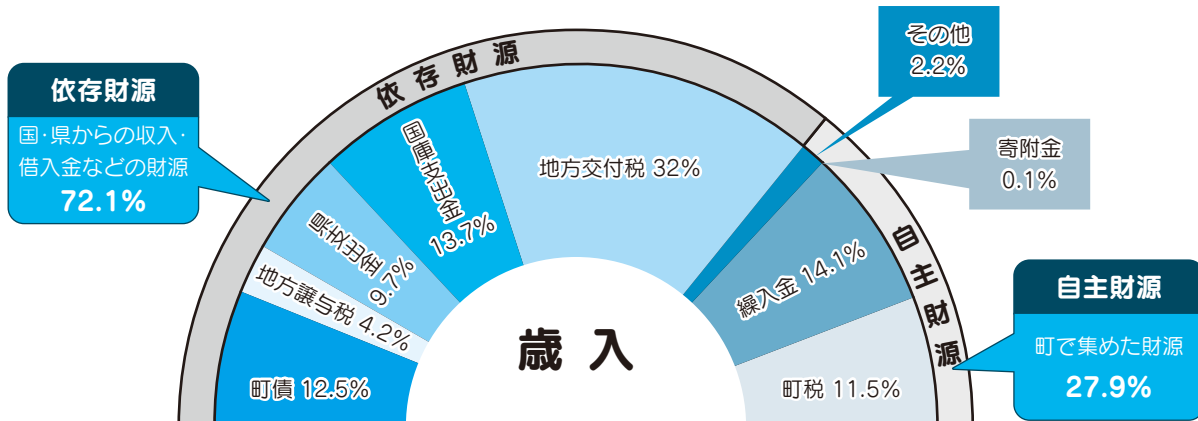
防災行政無線

11億2,275万円

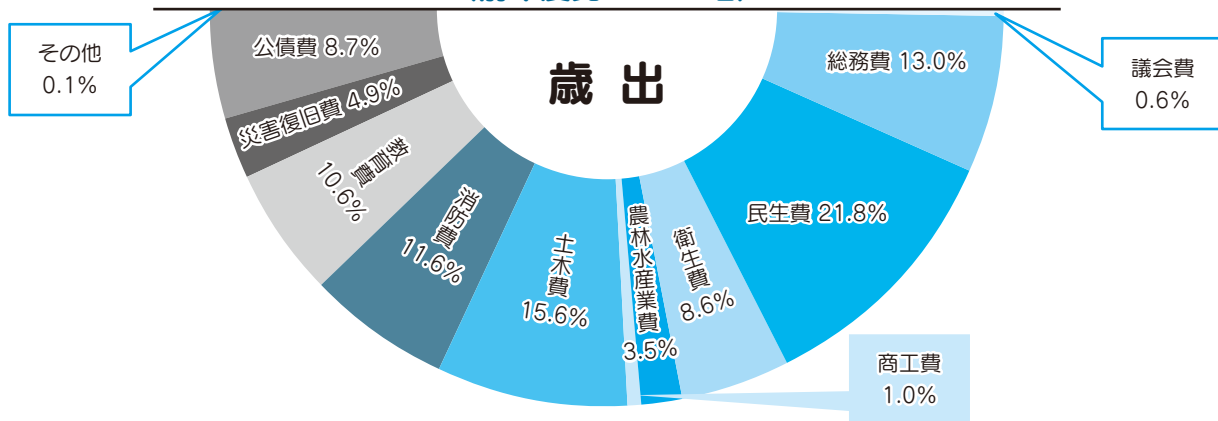
最適な同報系無線システム
に更新します。

令和8年度

防災・減災強化予算！



一般会計 152億7,500万円
(前年度比6.53%増)



特別会計	予算額	前年度比
後期高齢者医療	4億650万円	20.70%
介護保険	25億6,000万円	▲0.51%
国民健康保険	18億8,500万円	▲3.28%
分譲宅地造成事業	1,535万円	▲24.01%
ケーブルテレビ事業	1億8,078万円	23.31%
水道事業会計 (公営企業会計)	収益的支出	5億 394万円 4.73%
	資本的支出	9億6,341万円 61.65%
下水道事業会計 (公営企業会計)	収益的支出	11億3,996万円 4.43%
	資本的支出	26億1,192万円 13.98%

令和7年度3月定例会議

3月定例会議を3月5日(木)から19日(木)までの15日間の会期で開催しました。

初日の冒頭で町長より議案説明があり、条例改正が6件、令和7年度補正予算7件、令和8年度当初予算8件、指定管理者の指定6件、計画の変更1件が提出されました。

6日(金)に教育民生常任委員会、総務建設常任委員会を開催。9日(月)から11日(水)の3日間で予算決算常任委員会を開催し、各付託案件についての審査を行いました。

16日(月)、17日(火)に一般質問を行い8名の議員が登壇しました。

19日(木)に討論、採決を行い全会一致、または賛成多数で全ての提出議案を可決しました。その後、執行部より第3次中能登町総合計画について、また物品購入、工事請負契約の締結等の議案5件、教育委員の任命、固定資産評価審査委員の選任等の同意4件が追加提出され、全て全会一致で可決しました。議会から提出した発議第5号外交による中東地域の早期事態収拾と国民生活を守る支援策を求める意見書は賛成多数で可決し散会しました。

主な質疑

庁舎解体

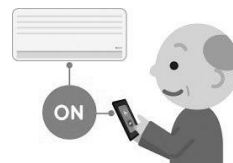
Q 鹿島庁舎解体の予定だがシルバー人材センターはどうするのか。また車庫は解体するのか。

A シルバー人材センターは移転を視野に入れ協議中。車庫は保育園バス等が利用しており、このまま取り壊さない。

高齢者支援

Q エアコン購入費補助は予算を超えて申請があっても対応するのか。

A 高齢者の熱中症予防は重要な健康課題でありニーズがあれば対応する。



温浴施設

Q 健康ハウス憩の浴槽漏水修繕工事の工期は。

A 2週間ほどとなっている。工事を行う際は町民に周知をしていく。

道路強靱化

Q 道路強靱化計画はどのようなものか。

A 地震や原発でなにかあった時の避難ルートの検討及び脆弱性や評価の再整理を行い、道路の重要度を検討するもの。

防災行政無線

Q 防災行政無線の更新とは。

A 親局を行政サービス庁舎に整備する。令和9年度をめどに戸別受信機の設置を申請者数に応じて行う。同時にライブビジョンという防災アプリをさらに活用し登録者数も増やしていきたい。



ライブビジョンのアプリ

屋内遊戯施設

Q カルチャーセンター飛翔の整備基本構想策定で屋内遊技場の場所は決定か。また鹿島や烏屋地区の子どもたちはどうやって行くのか。

A カルチャーセンター飛翔と他の施設との差別化を図り、屋内遊戯施設を配置した複合施設にしたい。検討委員会で意見があれば子ども達の移動手段等は前向きに考えたい。



中学校部活動

Q 部活動の地域移行の現状、今後の予定は。

A 運動部16チームすべてで外部指導者導入済み。今後は、ジュニア・中学校・大人を含めた中能登町総合型地域スポーツクラブ設立に向けて進めていく。



令和7年度 補正予算（3月定例会議）

一般会計補正予算総額192億7,104万円(8億7,916万円減額)

特別会計補正予算額(主なもの)

水道会計 収益的支出 11億3,045万円(1,667万円増額)
資本的支出 23億 950万円(1,500万円増額)

主な質疑

結婚推進

Q 結婚新生活支援補助金の400万円の減額は。

A 10組の予測だったが4組しか申請がなかったため。



イノシシ

Q イノシシ64頭の捕獲があったが町の方で引き取ってビジネスにすることを考えているのか。

A ジビエとして利用、埋めて処理など、方法は各地区に任せている。



バイオマス発電

Q バイオマスメタン発酵施設で発電しているが、施設の電気量の負担金が生じるのはなぜか。

A メタン発酵施設は、し尿や浄化槽汚泥、事業系生ごみを処理していることから、維持管理費の一部を一般会計で負担している。電気料金の高騰により、施設の維持管理費が増加したため、一般会計からの負担金も増加したもの。



ウォーターPPP*

Q ウォーターPPP可能性調査業務とはなにか。

A 下水道施設の維持管理、更新業務等で人手不足の中、民間事業者による効率的な運営や付加価値創出について今現在の3年間ごとの包括委託から国の示す10年程度の民間委託ができるのか可能性を調査するもの。

*PPPとは…Public Private Partnershipの略で公共施設の建設、維持管理、運営を官民連携で行うこと

■ 討論

提出された議案に対して、議員が賛成・反対の意思をあらわして、議案の成立の可否が決定します。

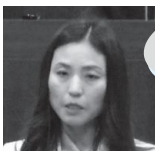


笹川議員

賛成

今、世界の平和へ声をあげることが何より大事！
発議第5号 外交による中東地域の早期事態収拾と国民生活を守る支援策を求める意見書に賛成する。

様々に町民の皆様の中にも、この戦争に関係している方もおられる。私たちは、こうした皆様の声をしっかりと議員として、議会人として発信していく責任がある。意見書の内容は、今の悲惨な戦争を止めていく、その方向へしっかり声をあげていくものである。



古玉議員

反対

中身に対して熟議がされていない
発議第5号 外交による中東地域の早期事態収拾と国民生活を守る支援策を求める意見書に反対する。

我々は本日この意見書に初めて触れた。その中身に関して熟議をする時間もなく、これを議会の総意とするには少し偏った考えがあるのではないか、という思いを持ったまま賛成することはできない。皆さんの意見を広く聞いた上で内容を精査して、しっかりとしたものを出す形を取るべきだ。

採決の結果

○：賛成 ×：反対 退：退席 除：除斥 欠：欠席
議長は、採決には加わりません。 ※可否同数の場合は議長裁決

議案番号	議案	木下 智治	三浦 克欣	合田 宏	角 久子	澤 良一	古玉 いづみ	尾田 良一	土本 稔	笹川 広美	南 昭榮	甲部 昭夫	坂井 幸雄	結果 (賛成：反対)
1月随時会議 1月28日(水)														
議案 第44号~46号	条例	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:0)
議案 第47号~51号	令和7年度一般会計、特別会計補正予算	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:0)
議案第52号	物品購入契約の締結について (各地区避難所に簡易トイレ「ラップポン」の 配備)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:0)
2月随時会議 2月27日(金)														
議案第53号	事業契約の締結について (令和9年度までに公共施設の照明器具を LEDに交換、その後10年間の維持管理)	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:0)
3月定例会議 3月5日(木)~19日(木)														
議案 第54号~58号	条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第59号	中能登町長寿祝金条例の一部を改正する 条例について (長寿祝金の支給要件を見直し、さらなる 高齢者サービスの向上を目指す)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案 第60号~66号	令和7年度一般会計、特別会計補正予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:1)
議案 第67号~74号	令和8年度一般会計、特別会計予算	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:1)
議案 第75号~80号	公の施設の指定管理者の指定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第81号	中能登町過疎地域持続的発展計画の 変更について	○	○	○	○	×	○	○	○	○	—	○	欠	可決(9:1)
議案第82号	第3次中能登町総合計画について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第83号	物品購入契約の締結について (スクールバス購入)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第84号	工事請負契約の締結について (中能登町防災行政無線(同報系)更新 工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第85号	工事請負契約の締結について (中能登消防署改修工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
議案第86号	工事請負契約の変更について (鳥屋グラウンド 法面災害復旧工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	可決(10:0)
同意第3号	教育委員会委員の任命について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	同意(10:0)
同意 第4号~6号	固定資産評価審査委員会委員の選任に ついて	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	欠	同意(10:0)
発議第5号	外交による中東地域の早期事態収拾と 国民生活を守る支援策を求める意見書	○	○	×	○	○	×	×	○	○	—	○	欠	可決(7:3)



題字 桜鱗氏（町内在住書家）

イランからの帰化女性に聞く



芹川在住 尾田パリーヌーシュさん

私は幼い頃からいろいろな話題と関わった家庭で育ちました。その為、少しおこがましいとは思いますが、異なった場面に遭遇した時の心の準備が割と日本人に比べ出来ていたように思います。しかしながら、こんな私でも現在のイランの事を思うと心が挫けそうになります。先日もマスコミの方々が何度か取材に来られました。そのたびにどれほど今の私たちは幸せ者なのだろうと強く感じさせられました。現在、世界は何処でもインターネットで交信できる時代ですが、イランでは99パーセントの家庭で交信できない状態が2ヶ月以上続いています。この状況で、老人、病気の人、幼い子供たちの面倒を見ることは非常に大変です。無差別に攻撃されるわけですから、自分たちだけでも生きることが困難なことなのです。2年前の能登半島地震は大変なことでしたが、自然災害でした。しかし、現在イランで起きているのは人災なのです。少数の人間たちのエゴによるものです。我々現在幸福を感じることのできる立場にある人たちが少しでもその気持ちを分かち合うことが大切だと思います。その為にもまず、人と人のつながりがどれほど大切なものかをいま一度、中能登の人たちには考えていただきたいと思います。

一般質問に8人が登壇

土本 稔 議員9P ・予算編成 まちづくり予算を示せ ・トキ放鳥 農家の支援を進めよ	笹川 広美 議員 10P ・子宮頸がん予防 検診とワクチンの拡充を ・介護人材 人手不足への対策強化を	木下 智治 議員 12P ・ボケふた誘致 道の駅に誘致せよ ・鳥獣被害対策 現場の実情に沿った対策を
甲部 昭夫 議員9P ・報道のありかた 報道優先は議会軽視ではないか	三浦 克欣 議員 11P ・ふるさと納税 強化の具体策は ・トキ放鳥 町の取り組みは	合田 宏 議員 12P ・オーガニックビレッジ 町として宣言を ・地域おこし協力隊 地域課題を明確にし配置せよ
古玉 いづみ 議員 10P ・防災・減災 防災・減災の取り組みは ・地域猫 避妊・去勢手術補助の拡充を	澤 良一 議員 11P ・給食異物混入 ヒューマンエラーか制度上の問題か ・契約更新 次期契約変更時期は	※各議員の二次元コードから 一般質問が視聴できます。



つちもと みのる 議員
土本 稔



予算編成

町まちづくり予算を示せ

防災害に強いまちづくりに

取り組み

◎まちづくりの施策において、公約や一般質問での答弁、各種団体からの要望などを検討して予算編成している。復旧復興を最優先にしつつ、まちづくりに対してどのような考えか。

▲復旧復興事業を最優先にし、災害に強いまちづくりを念頭に復旧復興及び防災減災に重点をおいた予算編成とした。防災以外では、カルチャーセンター飛翔整備に関わる基本構想など、復旧復興の先を見据えた予算も計上した。復旧復興の進捗度合いや財政状況などを考慮し計画的に取り組み。

議員のひと言

復興と共に未来を描ける町づくりの取組みが大切だと思つ。

トキ放鳥

農家の支援を進めよ

連携し進めていきたい

◎5月31日に羽中市で本州初のトキが放鳥される。トキ放鳥は環境づくりの大切さや豊かな里山環境の保全につながるためでもある。放鳥の機運をきっかけに、環境に配慮した農業への取組みは。

▲これを機に環境負荷低減を目指し、栽培技術の向上や生産拡大、環境と調和した農業を農家や関係団体と連携し推進したい。令和8年度産米から『トキめく能登の未来』米づくり認証制度の取組みが始まる。トキ認証米を将来的に、学校給食やふるさと納税へ活用したりできるよう農家と協力しながら進めていきたい。野菜については、環境に配慮した取組みを行っている農家に対し支援を考えたい。

議員のひと言

農家の支援につなげることが町づくりの一歩だと思つ。



こうべ あきお 議員
甲部 昭夫



報道のありかた

報道優先は議会軽視ではないか

情報漏えいというものは

ない

◎鹿西高校の教科書代無料化について、町が当初予算に計上する方針が議会への説明よりも先に新聞報道として詳細に掲載された。結果として議会審議前に政策が既成事実化する構造を生み、議会軽視と言われても仕方がないのではないかと。町長は、この順序が統治手続きとして適切であったと考えるか。情報漏えいの可能性は。

▲新聞報道に対して、町からの情報は一切提供しておらず、内部からの情報漏れはないものと考ええる。常に先に議会に話をすることとしている。議会のタブレットには内示の1、2日前に資料が入るといふ中で、報道機関がどうリンクしたのかちょっとわからない。

◎内部の情報漏れというのがないというのであればどういった形で出てきたのか。町長にはできるだけ気を付けるという確約を。

▲これからいろんな事業も出てくるので逐次、議会の皆さんに先に話して一緒にやっていきたい。新聞社に先に話すということはない。

議員のひと言

中能登町唯一の高校である鹿西高校にがんばっていただいて、中能登町を盛り上げて将来良い町にしたいだけの人材を作っていたきたい。





こたま 古玉いづみ 議員



防災・減災

**閩防災・減災の取り組みは
新しい総合計画に基づき
推進する**

Q 令和8年度当初予算における防災・減災の予算は総額35億円で一般会計の23%である。第3次総合計画においても重点事業としてとらえられているが、インフラ整備や自主防災力の強化、家庭用備蓄の促進などの施策は十分であるか。

A 段階とタイミング、優先度を注視し、創造的復興を推進する。

Q 日々の防災意識向上のための具体的な取り組みは。

A 拠点となる公共施設の強化に加え以下3点で環境整備を図る。

- ①町独自の防災アプリ「ライフビジョン」の利用推進。
- ②自主防災組織の構築。
- ③コミュニティタイムラインの作成。

地域猫

**閩避妊・去勢手術補助の拡充を
基金の登録手続きを進
めたい**

Q 震災後、飼い主のいない犬猫が増えているが町の認識は。

A 飼い主のいない犬はいないが猫については増加傾向にあると考える。

Q 当町の地域猫への去勢・避妊手術補助の実績は。

A 令和6年度は10頭、令和7年度は2月末で9頭。

Q 補助増額、どうぶつ基金との連携、ふるさと納税の支援呼びかけの考えはないか。

A 金額については他の市町を参考にする。基金は登録手続きを進めたい。ふるさと納税については関係課と協議する。

議員のひと言

小さな命に優しい町にしていきたい！

その他の質問

▼住みたいと思えるふるさとに



ささかわ ひろみ 笹川 広美 議員



子宮頸がん予防

**閩検診とワクチンの拡充を
審検討課題としたい**

Q 受診行動や事務負担などの軽減につながる「HPV検査単独法」の導入や男子へのワクチン接種助成の見解は。

A 県内でHPV単独検査を実施しているところはなく、情報収集に努める。男子への接種は国でも議論中であり、国の動向を踏まえ検討していく。

Q 中高生や若者が気軽に通える「ユースクリニック」を設置し、予防医学につながる環境づくりを。

A 相談できる体制づくりには医療関係者の確保が課題である。

その他の質問

▼給食費無償化

介護人材

**閩人手不足への対策強化を
多様な人材確保の協議を
重ねる**

Q 人手不足をどう捉えているか。
A 喫緊の課題と認識しており、町では人材確保や定着のための様々な取り組みを行っている。

Q 令和の互助インフラの構築を目指して地域住民・有償ボランティアをマッチングする「スケッター事業」を導入できないか。
A 町内の一部事業所では、シルバー人材センターによるスポットワークを導入している。今後は、県が実施しているスケッター事業と類似の「スポットワーク活用事業」の情報提供を行うなど、今後も多様な人材確保の協議を重ねていきたい。

議員のひと言

中長期的な展望を持ち、介護業界の課題に動き出すべきだ。



スケッターが担う身体介護以外の主な業務
※スケッターとは、介護施設における見守りや環境整備など、身体介助以外の業務を地域住民等が支援するマッチングサービスです。



みうら かつよし 議員
三浦 克欣



ふるさと納税

問強化の具体策は

答特産品などの魅力発信を強化する

◎ふるさと納税強化のための返礼品を増やすための戦略、体制の強化に向けての具体的な策はあるか。

▲特産品などの魅力発信や、ふるさと納税への呼びかけを繰り返し行っていく。

◎ふるさと納税強化に専念できる職員を確保する考えはあるか。

▲当町は二人でやっている。地域おこし協力隊に手伝いをしてもらう方向性を考えている。

議員のひと言

ふるさと納税アップで「稼ぐ自治体」を目指す。「あったらいいな」はふるさと納税から。

トキ放鳥

問町の取組みは

答生息できる環境整備をすすめる

◎5月31日にお隣羽咋の余喜でトキが放鳥されるが、町としての具体的な取り組みの考えがあるか。

▲トキ生息環境整備事業に取り組む農家に協力を求める。また関連する商品開発については地産生産アドバイザーの助言をもらい6次産業化の可能性を検討する。

議員のひと言

中能登の「観光」「光を観る」わが故郷には多くの「光」が眠っています。皆で掘り起こしていこう。



この空を朱鷺が舞うことを……。



さわ しょういち 議員
澤 良一



給食異物混入

問ヒューマンエラーか制度上の問題か

答いずれもヒューマンエラーと認識している

◎事故当時、マニュアル順守確認や抜き打ち検査など、実効的監督体制はどのように行われていたのか。

▲チェックリスト・ミーティングはあったが、行政による直接確認は十分でなかった。

◎再発防止策の実効性を客観的に検証する仕組みはあるのか。

▲保健所の2年に1回の巡回指導に加え、園長の点検や教育委員会職員の目視確認を行っている。

◎本件は契約管理の不備や内部統制の機能不全に起因する可能性はないか。

▲事故は遺憾だが、主因は人為的ミスであり、今後は点検や確認方法の見直しにより再発防止に努める。

議員のひと言

二度の重大事故を、全て業者のヒューマンエラーで済ませるのですか。行政側の制度・監督・内部統制も見直さなければ、事故は繰り返されます。

契約更新

問次期契約変更時期は

答令和8年度中に業者選定予定

◎他業者選定時の引継ぎ内容とデータ帰属の整理は。
▲円滑に引継ぎを行う。

◎包括契約方式の妥当性について分割委託との比較検証は。

▲契約事務の効率性と責任一元化の観点から、妥当と考える。今後は、第三者導入やリスク管理明確化など、全項目を見直す。

◎業者変更時に混乱が生じた場合の最終責任は。

▲学校給食の安全確保の最終責任は、町長である私にあると認識している。

議員のひと言

本件は単なる契約更新ではありません。事故と契約不履行があった以上、従来通りの更新は許されません。再検証と根拠提示が町長の責任です。



きのしたともはる 議員
木下 智治



ポケふた誘致

問道の駅に誘致せよ

啓受付停止中、

再開後に設置進める

Q ポケふたは、道の駅に設置すべき。滞在時間延長、消費喚起、防災を若い世代に楽しく伝えられる教育も期待できる。

A 誘客に繋げる効果的な取組だが、要望自治体が多く新規受付停止中。

Q 姉妹都市の紀宝町や福井県は全自治体で設置済み。石川県全体で設置に動いてはどうか。

A 奥能登6市町で設置の動きがあり、全市町で設置できるように要望する。

議員のひと言

確実な未来の投資と捉え、賢明な判断を！



富山県のポケふた事例
※ポケふた ポケモンの絵をデザインしたマンホールのふた

鳥獣被害対策

問現場の実情に沿った対策を

答実態について協議を進める

Q 捕獲推奨金だけで賄えない搬出、処理コストを直接補填すべき。

A 被害の拡大推移の状況を見極め、対応を検討する。

Q 現場の担い手へ具体的な支援拡充策を問う。

A 捕獲者の確保は優先的な課題。捕獲のための具体的な支援を検討していきたい。

Q 鹿や熊に特化した注意喚起や最新の出没情報を共有するシステムを構築すべき。

A 熊は昨年2件の目撃情報があった。町民の安全確保を最優先にあらゆる手段を活用する。



ごうだひろし 議員
合田 宏



オーガニックビレッジ

問町として宣言を

答課題が多く時期尚早

Q 宣言を行い、農家が安心して作付けを行えるよう100%買い取る仕組みを構築してはどうか。

A 有機米の取り組みは3農家のみであり、有機農産物が増え町内の理解が深まれば検討していく。

Q 子どもの健康と郷土愛を育む教育的な投資として100%有機給食を。また、農作業体験を組み込んだ食育の推進の考えは。

A 理想的であると考え。一部地元産特別栽培米を使用しているが、安定した供給には課題が残る。各小学校では、地元農業者の協力を得ながら田んぼでの農作業体験を行っている。

Q 農家への実態調査アンケートを実施し先進地視察を行っては。

A 話し合いの場を提供し意見を聞きたい。視察もできる限り進めていきたい。

地域おこし協力隊

問地域課題を明確にし配置せよ

答募集段階で示し委嘱している

Q 現在の基本方針、今後の活用拡大、課題についてきく。

A 総務省の制度であり人口減少、高齢化の著しい地域に移住し、様々なPR活動を行いながら定住・定着を図るもの。これまで8名採用で現在2名が活動中。定住につながったのは1名のみでさらなる制度の活用をしていきたい。

Q 地域おこし協力隊の任期は3年であり、任期後の定着を見据えた制度設計を。

A 能登半島地震による被災地において、1年を上限に特例的に任期延長が可能となっている。任期後の定住の後押しをしていきたい。

議員のひと言

町の課題解決に地域おこし協力隊の力は必要だと思う。

“議会報告会”～「議員と語ろう懇談会」開催しました～ 令和8年3月27日(金)

私たち議員、そして議会にとって、その一番の役割は民意の反映であり、町民の皆様の声を町政において具現化することです。そのためにも私たちは、常に町民の皆様の声に耳を傾ける必要があります。

中能登町議会として、年に1回程度議会報告会を開催してきましたが、コロナ期の中断を経て、昨年より再開いたしました。町民の声をお聴きしたいという願いから、ワールドカフェ方式で懇談会を開催しました。

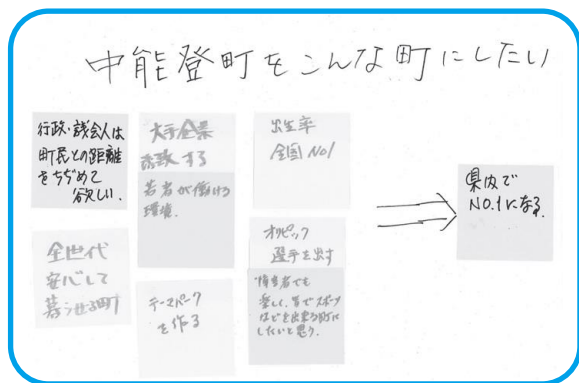
子育て世代の皆様の声をお聴きした昨年に続き、今回は、20代から80代までの幅広い世代の町民20名にご参加いただきました。

まず議会報告として、議会の役割や各委員会の報告をした後、参加者と私たち議員がグループに分かれて意見交換をしました。

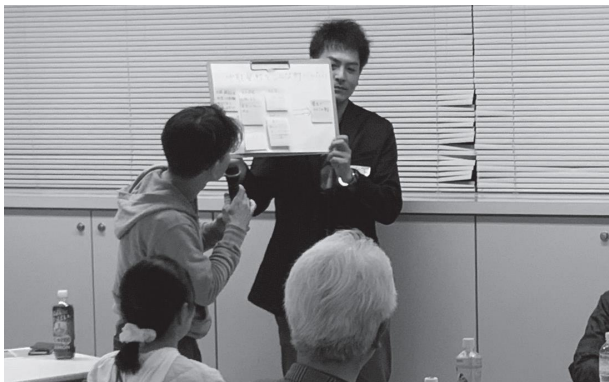
テーマは「私たちの中能登の未来」

- ①中能登町はどんなところ？
- ②どんな町になってほしい？
- ③もし議員になったらなにがしたいか？

について、熱いトークが繰り広げられました。



実際に、懇談会で提出された意見の一例



お聴きした貴重な意見を、「どう町政に反映できるか」議会を挙げて取り組んで参ります。

その後、4月15日(水)に議会行革活性化正副委員長から南議長へ実施報告書を提出しました。

実施報告書はこちら



公費解体の進捗状況

総務建設常任委員会

公費解体申請数は、住家222棟、非住家1095棟、合計1317棟です。
 令和8年2月9日時点で、解体済み1307棟で、進捗率は99.24%です。
 近隣自治体のような解体に長期間を要する物件は、当町になく、また、廃棄物の搬出の仮置場であった金丸・後山の両仮置場は令和8年3月までに撤収する事になりました。
 復旧にひとつの区切りがつかしました。

公共施設等総合計画の見直し

人口減少などによる公共施設の利用需要の変化を踏まえ、中長期的な視点から公共施設等の更新、統廃合、長寿命化などを計画的に進め、財政負担を軽減、平準化するとともに、最適な配置をするための基本方針です。

施設の安全性・機能性の確保、今後の人口動態。需要に見合った保有量、維持管理・更新費用の抑制を目標とした統廃合等による保有量の削減が必要との説明を受けました。

令和17年度末までに延床面積(139,485㎡)の総量を10%(13,949㎡)削減との計画目標があると説明を受けました。

まずは鹿島・鹿西庁舎、金丸体育館、鹿西武道館の解体を行い、今後、必要に応じて協議して削減する方向です。

物価高騰対応

1人につき、1万2千円の商品券を世帯ごとに配布しています。
 使用期限は、令和8年9月末となっています。
 利用できる店舗は、こちらで確認できます。



町独自で子育て世帯に1万円加算給付

教育民生常任委員会

国の制度で、高校生までの児童手当を受給する児童を養育する父母等に2万円を給付します。
 町独自で、さらに1万円を加算給付することとなりました。
 児童手当受給者には、申請不要で令和8年2月中に振込されました。

長寿祝金の支給を一部廃止へ

令和8年3月31日まで		令和8年4月1日から	
支給年齢	支給額	支給年齢	支給額
77歳	10,000円	88歳	20,000円
88歳	20,000円	100歳	100,000円
99歳	20,000円		
100歳	100,000円		

委員会では、廃止ではなく縮小にならないのか、などの意見が出ましたが、他の福祉サービスの充実を図りたい、との理由で支給年齢や方法などを見直すこととなりました。

88歳には、支給額分の町内商品券へと配布方法が変更となります。
 委員会として福祉サービスの充実注視していきます。

議会からのお知らせ

6月定例会議の日程

月	火	水	木	金	土	日
5/18	19	20	21	22	23	24
			本会議 午前10:00 議案上程 提案理由説明 質疑など 午後1:30 総務建設 常任委員会	午前10:00 教育民生 常任委員会 午後1:30 総務建設 常任委員会		
25	26	27	28	29	30	31
午前10:00 予算決算 常任委員会						
6/1	2	3	4	5	6	7
	本会議 午前10:00 一般質問	本会議 午前10:00 一般質問 (予備日)		午後1:30 全員協議会 本会議 午後3:00 委員長報告 質疑・討論・採決		

本会議はケーブルテレビ「なかのとチャンネル」で中継します。

みなさんの傍聴をお待ちします。



会議等出欠状況

○…出席 ×…欠席 △…早退・遅刻 - 委員外
オ…議長が各委員会にオブザーバーで出席

		議席番号											
		議員名											
月	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
会議名		木下智治	三浦克欣	合田宏	角久子	澤良一	古玉いづみ	尾田良一	土本稔	笹川広美	南昭榮	甲部昭夫	坂井幸雄
1月													
15日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	×	○	○	○	○	-
15日	総務建設常任委員会	○	-	○	-	×	-	-	-	-	○	○	×
21日	議会運営委員会	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	×
28日	全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
28日	随時会議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
29日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	-	-	○	-	-
2月													
10日	議会展革・活性化特別委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
13日	議会運営委員会	-	○	○	-	-	○	-	-	-	○	○	×
13日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-
13日	総務建設常任委員会	○	-	○	-	×	-	-	-	-	○	○	×
24日	全員協議会(予算内示会)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
24日	議会展革・活性化特別委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
27日	全員協議会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
27日	随時会議	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
3月													
5日	3月定例会議 初日	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
6日	教育民生常任委員会	-	○	-	○	-	○	○	○	○	○	-	-
6日	総務建設常任委員会	○	-	×	-	×	-	-	-	-	○	○	×
9日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	△	×
10日	予算決算常任委員会	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
16日	一般質問	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×
17日	一般質問	○	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	×
19日	議会運営委員会	-	○	-	-	-	○	-	-	-	○	○	×
19日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
19日	3月定例会議 最終日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
30日	議会広報特別委員会	○	○	○	○	-	○	○	-	-	-	-	-

開かれた議会・わかりやすい議会を目指します ～議会モニターとの意見交換会～

会議記録はこちら



はまみち かずひで みしま ひでのぶ

2月24日(火) 令和7年度第2回議会モニター意見交換会を開催し、浜道 一英氏、三島 秀信氏と意見交換を行い、議会運営や広報のあり方について幅広く意見をいただきました。

- ①議員報酬については、水準の低さが若年層のなり手不足、障壁となっているとの指摘があり、引き上げと審議会の早期開催を求める意見が出されました。議会は、課題認識を共有し、町執行部へ審議会の開催を要請している状況を説明しました。
- ②一般質問は、論点が分散し分かりにくいとの意見から、構成や時間配分の工夫を求められました。
- ③議会だよりは、表現や構成の見直しが課題とされました。
- ④災害時の役割明確化などの意見もあり、今後の議会運営および広報活動の改善につなげていくことを求められました。

～議会モニター(再任)～

かがみや しげお

鏡屋 重雄氏を議会モニターに委嘱しました。

任期は、令和8年4月1日から2年間です。

全国町村議会特別表彰 受賞

4月14日(火) KKRホテル金沢において、全国町村議会議長会表彰の伝達で、当議会に特別表彰が贈られました。



■全国町村議会議長会表彰

町村議会特別表彰 中能登町議会

全国町村議会議長会
表彰実績



新中学一年生に突撃インタビュー

4月7日(火)の中能登中学校入学式で新一年生にインタビューしました。
 手持ちのメッセージは、「こんな町になってほしい」という願いを、写真下のコメントには「中学校生活への思い」をそれぞれ書いてもらいました。ご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

中能登町の自然を守りつづけていきたいです。

茶谷さん

しっかり勉強してテストを頑張りたい

とがいたしてほしいです。

坂井さん

わかりやすく授業をしてほしい

町の全員が安全に暮らせる町にしたい。

木原さん

楽しい学校生活を送りたい

サイゼリアを作りたいです。

田辺さん

友達を沢山作っていきたい

中能登町を全員が大切に自然を大事にしたい。

2025 **川島さん**

全校生徒が協力してどんな事もチャレンジできる学校を目指したい

環境を守りホイ捨てなどをなくし、高らしい方がなかに優しくする。

永尾さん

勉強や部活をしっかり頑張りと、友達とも仲良く過ごす

自然を増やして、より豊かな町にしていきたい

岡本さん

しっかりメリハリをつけて、色々な勉強や部活全てに取り組んでいきたい

子どもが増え元気な町になるといい

松本さん

運動と勉強を両立し、友達を沢山つくりたいそして、中間・期末テストで1位をとる

石動山などがあり、自然豊かなところ。

松本さん

3校から人が集まるので、仲良くなる。放送委員会に入ったので、仕事に責任を持ち頑張る

公園でみんなが遊ぶ、中能登町

袋井さん

文武両道で頑張る

自然を生かしスポーツに取り組む中能登町

霜出さん

スポーツに力を入れたい

自然を大事にする中能登町

松本さん

沢山の友達を作り、楽しい学校生活を送りたい

人々が安心して暮らすことのできる町

高木さん

授業を楽しく受ける

みんながかわって暮らせる中能登町

峰さん

頑張りたい

みんなが仲良く暮らせる

瀬嵐さん

仲良くしたい

このまま町を大切にしたい。

伊藤さん

けんがなして、仲良く友達をつくりたい部活など色々なことで頑張る

通学路を整備してほしい

野崎さん

平和で安全な学校生活を充実させる



表紙の桜に囲まれた保育園児の笑顔、小学校入学の子どものたのしい顔、お母さんの和服姿。「ザ・ニッポンの入学式」ですね。なぜか5年前の母の和服姿を思い出しました(笑)。ドロンコビックで泥まみれでスライディングするお父さんたちのパワーも私は知っています。このような「ファミリー」が明るく元気に暮らし、「一緒になってこの中能登町を創っていく」そんな町になったらいいなど改めて感じました。

三浦 克欣

編集後記

【議会広報特別委員会】

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 古玉いづみ |
| 副委員長 | 合田 宏 |
| 委員 | 尾田 良一 |
| | 角 久子 |
| | 三浦 克欣 |
| | 木下 智治 |

読みやすさに配慮し、ユニバーサルデザインフォントを使用しています。一部の写真は、見やすくするためにAIを使用して色調補正を行っています。

